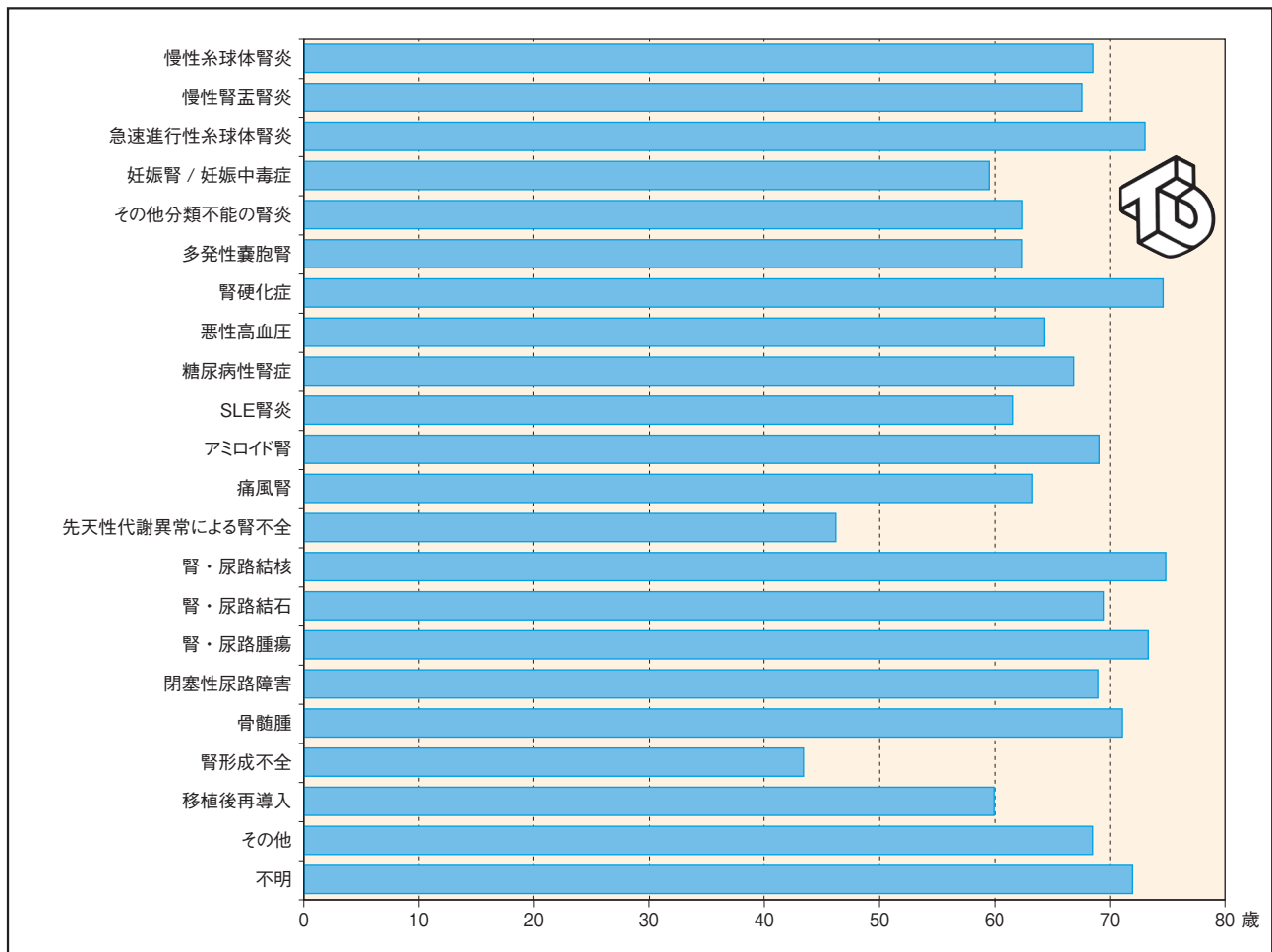


### 3) 導入患者の現状

#### (2) 導入患者の原疾患別人数と平均年齢 (図表10)



原疾患	患者数 (%)	平均年齢	標準偏差
慢性糸球体腎炎	6,777 (18.8)	68.50	14.22
慢性腎盂腎炎	279 (0.8)	67.55	15.19
急速進行性糸球体腎炎	505 (1.4)	73.02	11.76
妊娠腎 / 妊娠中毒症	37 (0.1)	59.46	13.40
その他分類不能の腎炎	135 (0.4)	62.35	20.14
多発性嚢胞腎	907 (2.5)	62.33	13.18
腎硬化症	4,701 (13.0)	74.59	11.61
悪性高血圧	281 (0.8)	64.25	17.37
糖尿病性腎症	15,837 (43.8)	66.84	12.17
SLE腎炎	258 (0.7)	61.55	16.63
アミロイド腎	88 (0.2)	69.03	11.44
痛風腎	87 (0.2)	63.21	13.71
先天性代謝異常による腎不全	17 (0.0)	46.18	20.42
腎・尿路結核	17 (0.0)	74.82	8.63
腎・尿路結石	55 (0.2)	69.40	14.01
腎・尿路腫瘍	164 (0.5)	73.30	9.83
閉塞性尿路障害	96 (0.3)	68.93	16.82
骨髄腫	129 (0.4)	71.06	11.24
腎形成不全	47 (0.1)	43.36	25.52
移植後再導入	206 (0.6)	59.88	15.98
その他	1,375 (3.8)	68.47	16.32
不明	4,141 (11.5)	71.94	13.19
合計	36,139 (100.0)	68.68	13.44
記載なし	15	68.14	15.01
総計	36,154	68.68	13.44

患者調査による集計

数値右の括弧内は列方向の合計に対する%です。

#### 解説

導入患者の原疾患の第一位は糖尿病性腎症で43.8% (前年の割合より0.4ポイント減少)、第二位が慢性糸球体腎炎で18.8% (0.6ポイント減少)、腎硬化症が13.0% (0.7ポイント増加)、不明が11.5% (0.5ポイント増加)であった。糖尿病性腎症は2008年に初めて前年より0.1ポイント減少し、その後導入患者の原疾患に占める割合はほぼ横ばいで推移している。一方、慢性糸球体腎炎の漸減傾向に変化はなく、腎硬化症・不明はいずれも一貫して増加傾向にある。

導入時の平均年齢は、糖尿病性腎症で66.84歳 (前年より0.14歳上昇)、慢性糸球体腎炎で68.50歳 (0.29歳上昇)、腎硬化症の平均年齢は74.59歳 (0.26歳低下)であった。全体の68.68歳は2012年の68.45歳と比べて0.23歳の上昇であった。比較的若年で導入されているのは、従来通り、腎形成不全、先天性代謝異常による腎不全などの先天異常によるものであった。